

☆遊離端欠損補綴アタッチメントとデンチャー

よく噛めることへの満足感。これらのことは、歯科医療が人の健康は元より、命の根源にかかわるものと言っても過言ではなさそうです。そんなことを思うとき、どうすれば患者さんの満足のいく補綴物の提供ができるのか、真剣に考え製作に励まなければならないと思っているのですが、残念ながら先生方を通してのみ、その実感は伝わってこないのです。ブリッジなどは、ほぼ見当はつくのですが、デンチャーとかインプラントの上部構造などは、それを装着された患者さんからしか知るよしもないのです。こんな事も技工士(所)の減少の要因の一つかも知れません。

営業 井上雅博

『アタッチメント』まとめ

これまでアタッチメントのそれぞれ、パリオソフト3・スギナカリーグル・エクストラックミニを紹介して参りましたが、ではどれが一番良いのかということですが、それぞれに特徴があり、その症例によって選択していくというのがよりベターであると考えています。なかには、院長先生によりスギナカが好き、パリオが好きというような嗜好がある場合もありますが、それはそれで良いと思っています。症例に適した補綴物が患者様に喜んでもらえれば三方良しということで、素晴らしい事だと思います。

技工士 原 謙一郎

いつもお世話になっています。2013年もスタートしました。近年口腔内からのメタルレス化が急速に進んでおります。デンチャー関係ではノンクラスプデンチャー、クラウン関係ではオールセラミックなど。今月の受注状況でもこれらの仕事、特にジルコニアの受注が増えてきていていいスタートが切れているように思っております。弊社も今年1年”口腔内のメタルレス化”をすすめていきたいと思っております。



先生方も宜しく願いいたします。

技工士 松浦志樹 リンガライズオクルージョン

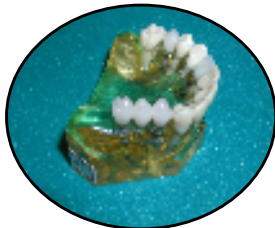
古くから装義歯に与える咬合は両側性平行咬合が望ましいとされ、日常の臨床においてもフルバランスオクルージョンが広く用いられてきた。しかし、実際の臨床で目にするのは多くは理想咬合とは全く異なるもの例えば削合によって咬頭が真平らになり、恰も無咬合頭歯を排列したかのように見えるもの逆に全く咬合面形成がなされていないものなど理屈と現実は大いぶ違っているようである。このことはGysi咬合小面学説がいかに難解で実現しづらい咬合様式であるかを如実に物語っているPayneのModified set-up法というのがありGysiの咬合小面学説に比べればその咬合理論は非常に簡明でしかも誰でも容易に応用できる臨床的な咬合様式である。(松本直之著より)引用

営業 長谷川高広 入社ご挨拶

昨年、12月12日に入社しました。長谷川高広です。宜しくお願いいたします。営業歴はあります。営業畑で食品関係の仕事をしていました。10年前に1年ほど技工所の営業をしていましたが、全くの新人です。

現在は、新規開拓をしながら営業に励んでおります。この時世厳しいですが、遣り甲斐を感じながら営業活動をしています。やはり続けることにより結果はついてくると信じています。人生は一生勉強だと思います。

何年経っても初心を忘れず、これからも頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。



オールセラミック  
シングルクラウンから  
インプラント上部構造まで



唇側にメタルが見えない  
確かに今要望が多い  
パーシャルデンチャー



金属床のバージョンUP  
唇側にクラスプを無くした  
スイングウエッジ金属床

株式会社 オー・プラン・ラボトリー

〒 661-0022 兵庫県尼崎市尾浜町1丁目29-1

TEL:06-6426-5291 FAX: 06-6426-5292

E-Mail:webmaster@opl.co.jp URL: http://www.opl.co.jp

ご意見やご質問は、webmaster@opl.co.jp(電子メール)までお願い致します。

□今後FAX不要の場合はお手数ですがFAX番号 \_\_\_\_\_ 記載の上、返信願います。